

八本松西
自主防災会

東広島市内で最初の避難所運営訓練

94名が避難者と避難所運営者を実体験

4月の机上訓練を 実際の人の動きで体験



区割りされた指定エリアでの避難実体験



車椅子でスロープを登る訓練に用いる機材や用品の配置、避難所としての区割りと案内板の掲示



障害者疑似体験スロープを登る訓練に用いた机上スロープに機関と連携し準備をすすめてきた。

八本松西自主防災会(宗吉東・南地区自主防災会、宗吉北地区自主防災会)は、5月22日宗吉第一集会所で体験型避難所運営訓練を実施した。この訓練は市内で初めての試みのため、4月に実施

当日も訓練に用いる機材や用品の配置、避難所としての区割りと案内板の掲示

等多数の作業を早朝より行い、予定より30分早く受付を開始。参加者は受付で記帳し、避難誘導班の指示で決められた区割りに避難した。また、受付で傷病者等の役割をもらった避難者は傷病者用プレートを首に下げ、車椅子、障害者疑似疑似体験器具等を用い避難誘導班や救出救護班の援護で救護室等へ避難。また、これらの指示と結果の報告はトランシーバで本部と班へ伝達されていた。参加者のみなさんのときばきとした行動でわずか45分で67名の避難が完了した。

避難訓練後、広島市土砂災害を記録したDVDを視聴し、市危機管理

課の中川さん、寺脇さんと市社会福祉協議会の豊島さんによる避難時の心得についての講演があった。
この経験が実際の避難時に役立つ
特に寺脇さんは「根拠もなく自分は絶対大丈夫と思っただ人は被災されている。自らの判断で状況に応じ安全な場所に率先して避難することが重要で、このような訓練はその時役に立つ」と述べた。非常食(市提供)の試食を行った後、最後に、八本松西自主防災委員会の宮野委員長は「防災の基本は自助であり、災害経験のない我々はこのような訓練を通し自助の意識を高めよう」と述べた。

ED(自

松風ハイツ自主防災会は5月15日(日)八本松西集会所で消防署西分署の指導を得て地域住民の方を対象に人工呼吸等救命行動の実践訓練を行った。集まった34名の参加者は、傷病者に対する迅速な処置の必要性和対応の手順について説明を受け、その後、全員が傷病者対応の実践訓練として人形を利用した心臓マッサージ、人工呼吸のやり方とAED(自



心臓マッサージの指導を受ける参加者

松風ハイツ
自主防災会

実践訓練 心臓マッサージ 応急救護

動体外式心肺蘇生器)の使い方を実体験により学んだ。訓練を受けた参加者は「初めてのことはばかりで勉強になった」、「実際に体験してみると、いざという時にも落ち着いて行動ができると思う」と話していた。

地震に備えて 自助の意識を向上

大山ハイツ自主防災会 防災研修開く 実に59%の91世帯、125名が参加



大山ハイツ自主防災会は6月5日市危機管理課の梅さんを招き八本松西集会所で防災講習会を実施した。

今回は4月に熊本で発生した直下型地震はどこでも発生する可能性があることから地震対策をテーマとした研修会を企画。そのため、世帯参加率も59%（1555世帯中91世帯）と高く、125名の住民の皆さんが参加した。



地元工務店さんによる転倒防止器具の取り付け方の説明

今すぐに 家具などの転倒防止対策を

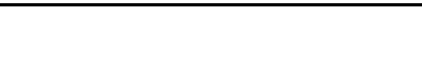


八本松みなみ地区自主防災会 防災研修開く 地域全体で楽しく防災対応

6月12日八本松みなみ地区自主防災会は八本松南集会所で市の危機管理課の原田さんと住宅課の荒谷さんを招き防災研修会（地域の参加者37名）を行った。

最初に「地震による家具などの転倒を防ごう」をテーマとした映像では、「建物の倒壊は震度6以上でない」と起らないが家具の転倒は震度5くらいで発生し、家具は非常に危険な凶器となる。自分と家族を守るために家具などの転倒防止を今すぐ始めよう」と放映。

原田さんは、「阪神淡路で亡くなられた方の死因の7、8割が家具の転倒や家屋の崩壊に起因。もし熊本地震のような直下型地震が起れば地震発生と同時に家具の転倒が発生する。これを免れるには事前の家具転倒防止対策しかない」と述べた。



また、地元で工務店を営む竹口さんは、模型の壁を用意し市販の転倒防止機材や間柱を探す機材・器具をどのように扱うかわかりやすく実演を行った。

住宅課の荒谷さんは、「昭和56年に建物の構造基準が改正された。56年以前建築の木造2階建て住宅にお住まいの方は、まず市の木造住宅耐震診断事業に申し込み我が家の耐震性を確認していただきたい」と強調。

また、参加した住民の方からも阪神大震災の経験談を交え、家具の固定について自らの体験談を紹介された。

最後に市の原田さんは、「みなさん、和気あいあいとしかも地元の皆さんから具体的な施工方法が説明されるなど地域全体で楽しく防災対応がされ感心した。是非この流れを続けていってほしい」とコメントした。

八本松みなみ地区 雨天の中24カ所で904名の安否を確認

雨にもかかわらず341世帯（83%）が参加。安否確認件数も904人（79%）と多く、この訓練の目的も徐々に理解されてきている。